

2020年原水爆禁止国民平和大行進 宮城県実行委員会アピール

核兵器のない世界を実現し平和な世界を子どもたちに手渡すために

今年の宮城県内の平和行進は、6月21日から28日までの8日間ですが、新型コロナウイルスの影響で、**従来通りの行進は行わず、自治体訪問と宣伝カーでのアピール行動を中心**とします。現地実行委員会等でスタンディング行動等をするときにはぜひご協力をお願いします。

平和行進とは

仙台 6/25 12時～12時半 平和ビル前

1958年、日本山妙法寺の西本あつしさんが「地球上から核兵器を追放しよう」と国民に呼び掛けるために、たった一人で広島から東京まで歩いてアピールをしたことから始まりました。現在では、全国各地11のルートで、夏の広島・長崎での原水爆世界大会に向けて、「核兵器廃絶」「核戦争阻止」「被爆者援護連帯」を目的に、毎年リレー形式で行進が行われており、今年で63回目を迎えます。

世界の核兵器の実態は

現在、地球上には14000発以上の核弾頭があるといわれています。そのうちの3700発が、いつでも使える状態に配備されているのです。今年1月23日に、アメリカの科学雑誌「Bulletin of the Atomic Scientists」が核兵器使用の危機を表すために毎年発表している「終末時計」の針がさらに進められ、「世界滅亡まで2分」からこれまで最短の「100秒」と危機感が高められました。イランとアメリカの衝突や新たな核兵器開発の競争に加えて、気候変動の危機も加えられたとのこと。コロナウイルスに関わってアメリカ・中国間の不穏な空気も心配ですし、アメリカは核爆発を伴う実験も再検討しているというニュースも伝わってきました。大変心配です。

核兵器禁止条約ができ

2017年に国連で採択された核兵器禁止条約の批准国は37ヶ国まで広がり、署名も81ヶ国になっています。50ヶ国が批准すると正式に国際法として発揮し、核兵器保有国も使用することが難しくなります。唯一の被爆国である日本の政府が反対を表明していることに対し、5月末時点で全国449自治体(宮城県は15自治体)から、日本政府に対して条約を批准するようにと意見書が提出されています。

私たちにできることは

① ヒバクシャ国際署名を集めましょう！ 今年の秋が最終提出です

昨年9月末で1051万筆、署名した国会議員は115名(16%)、1232名の市町村長と20名の知事がサインしています。このように、「国内外で核兵器はもういらない」の声が多数派を占めているのです。

② オンライン世界大会をみんなで視聴しましょう！

8月2日・6日・9日に、オンラインで原水爆世界大会が開催されます(裏面参照)。各地域・職域で集まって視聴しましょう。若い世代にも参加を呼びかけ、核兵器廃絶運動を広めましょう。

③ 地域や職場でアピール活動を工夫しましょう！

SNS上にアピール写真や動画をUPする、スタンディングをする、ミニ学習会を開くなど、平和行進に代わる活動を工夫して行いましょう。活動の様子を写真や動画に収めて、ぜひ以下のアドレスまで送ってください。

miyagigensuikyo@gmail.com (宮城県原水協)

2020年6月 原水爆禁止国民平和大行進 宮城県実行委員会 <連絡先>080-2836-8208 (川名)